

「進化続ける音のタイムマシン」

DCアンプ

参加無料

5/11(火)
15:30~17:30

金田 明彦 氏

ホテルクラウンパレス秋北 孔雀の間

オーディオマニアの間では知らない人がいない、
アンプの世界のカリスマ的存在!

実際にDCアンプシステムを持ち込んで、
音の違いを体感していただきます。

金田式アンプはとにかくシンプルかつ奇想天外!!
回路の合理性を徹底的に検証し、産業用 FET や真空管を含め
あらゆる増幅素子の可能性をとことん追求し、コンプリメンタリー駆動を廃止
し、理想の電源を求めて電源トランスを省いたり乾電池駆動を導入したり
等々、その旺盛な研究、そして何より、誰もがいい音を体験できるように素人
でも製作が容易な機種を必ず用意される。一体その音とは・・・

ものづくりのプロも♪
ものづくりのタマゴも♪



ものづくりの隠れファンも♪

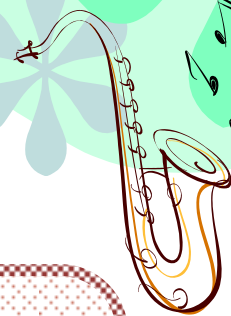
♪どなたでも楽しめます♪

金田氏を囲んで色々お話を伺いましょう!

交流会

17:40~

(交流会費:5,000円)



お披露目します♡魅惑のサクソスを

金田 明彦(かねた あきひこ)氏

元秋田大学助教授。秋田県出身、1963年秋田大学卒。

大学の先生としてよりもオーディオ回路設計者として有名。1970年代、オーディオアンプの世界に初めてDCアンプの考え方を持ち込んだ一人である。またDCアンプのみならず、電源回路においても、超高速電源や高速スイッチング電源、バッテリー電源の設計を行うなど、こだわりを見せた。真空管アンプの設計も行っている。

金田氏の設計物は一括して「金田式」と呼ばれるが、オーディオ界において金田式以外のDCアンプも存在するにもかかわらず、「DCアンプ」という言葉から金田式を連想する人も多い。また、アンプのみならずマイクロフォン、テープレコーダー、ターンテーブルまでも回路設計の対象として取り上げている点は、アマチュアオーディオ界においては特異ともいえる。

※ウィキペディアより

プロフィール

1963年~1965年 株式会社 東北沖電気 勤務
1965年~2005年 秋田大学 教育学部教育文化学部
物理学担当

1973年~ 月刊誌「M」無線と実験」にレギュラーライターとして「DCアンプシリーズ」を執筆中(現在No.213)

著書 「最新オーディオDCアンプ」等7冊
「DCアンプ」試聴会、講演会、制作講習会等
東京、横浜、大阪、松本、秋田、大館、新冠、ソウル等で
多数実施

申込締切
5/6(金)